



# 札幌・北海道を再生しよう

3月20日、中央区「秋元克広総決起集会」を自治労会館で開き、200人が参加した。

はじめに、段坂・中央区民主党代表が、「民主党推薦小林、藤川道議候補予定者、長谷川、村上札幌市議候補予定者4人と、秋元克広市長候補予定者を当選させて、札幌と北海道再生のために我々力を尽くす。協力を願う」とあいさつした。続いて、横路衆議院議員が、「今回の知事選、市長選で自民党とたたかうのは北海道と大分だけだ。結果がどうなるかが政局に影響を与える大事な選挙になる。多くの人に投票に行ってもらい、北海道で勝利に結びつけることが、安倍政権に歯止めをかけることとなる。皆さんにお願いする」と呼びかけた。続いて、札幌市中央区立候補予定者の小林郁子、藤川まさし(組織内)道議候補予定者と、長谷川衛、村上ゆうこ候補予定者



左から小林郁子、藤川まさし、秋元克広、長谷川衛、村上ゆうこ候補予定者

その後、秋元克広(道本部推せん)札幌市長候補予定者は、「半年間、多くの住民と対話をした。上田市政の根幹としてきた、人を大事にし、やさしい街づくりを、市民のみなさんとともに創るまちづくりが大きな柱だ。魅力的な街にして次の世代の子どもたちにつなげていく。子どもたち、障がい者や、高齢者が安心して暮らせる札幌にする。負けられないたたかいた。上田市政が12年間進めてきたことを今後も継続して次世代につなげる。札幌と北海道全体と連携し、地域を良くして

いかなければならない。ご支援をお願いする」と決意を述べた。最後に、上田札幌市長が、「秋元さんは政令市以降のいいところ、だめなところ知り尽くし35年間仕事をしてきた。市民が主役の街、文化と誇りあふれる街づくりをしよう」と12年間取り組んできた。少子、高齢社会の中札幌市の歴史、現状、将来を見つめて具体的な政策を提言できるのは秋元さんしかいない。勝たせてください」と呼びかけた。最後に、上田市長の団結カンパニーで集会を終了した。

## TPP反対に立ちあがる



全道緊急集会に1500人が参加した=札幌市

3月22日に、J.A北海道中央会、道医師会、消費者団体などをつくる実行委員会の主催で「TPPから命と暮らしを守る」1北海道緊急大集会が札幌市民ホールで開かれ、全道の農家などから約1500人が参加した。基調講演では、孫崎亨外交評論家が「格差を生むTPPの正体」と題し、講演した。孫崎さんは、投資先の国の政策変更で

## あいくみの国会だより



国民の心理が解らなくなっている。竹信美枝子(和光大学教授)さ。昨今です。原発推進政策、集団的自衛権発動には圧倒的に多くの国民が反対をしています。また、「アベノミクス」で自分たちの生活が良くなると誘導される可能性がある「まさに、今の安倍政権がその道をたどっているか」という問いかけには、恩恵はない、実感が無いという声も圧倒的に多いにもかかわらず、内閣は高支持率を保っている。なぜだろうと考えるもその答えは見つかりませ

## 労働組合政治活動は重要



職場だより

【上川地本発】下川町職労青年婦人部は、統一自治体選挙政治学習会を3月23日(月)に開き、14名が参加した。和田青年部長が「組合活動で政治活動は大変重要。これから行われる統一自治体選挙にむけた基礎的な事項を理解し、活動につなげよう」とあい

さつし、学習会では上川地方本部の長能書記長が「アベノミクスでは、大企業しか景気は良くならず、中小企業を中心の地方にはお金がまわらない。大企業の内部留保や中小企業の経営不安から非正規雇用が増大している」と述べ、「選挙活動は組合活動として許されて



政治活動を学んだ=3月23日

## シリーズ「社会保障制度改革の行方」⑬

### 保育の質・職員の処遇改善に全力



保育職場の現状は、臨時・非常勤の保育士が半数以上を占め、正規職員と同じ職務をしている状態にあり、処遇に明らかに差別が存在します。また、保育士の頑張りを頼りに保育の質を確保してきましたが、劣悪な労働環境や利用者の変化による限界を超え、保育士の離職増加や確保困難が課題となりました。4月から「子ども・子育て支援新制度」が本格実施されます。制度は保育の量的拡充と質の改善を両輪としてきました

## 忙中余話

この教宣紙がみなさんの暮らしに届く頃には、私の故郷である別海町あたりを走行中。北海道知事候補ともなっている「命と暮らしを守る」ために北海道のリーダーとして参画した。支持する政党はバラバラなのに各主催団体あいさつは共通点が多数。未だに農業者の問題という感がある。自身の総決起集会のため欠席した現職知事のメッセージ代読は農政部長だったことに違